

# 移住促進分野のバージョンアップの方向性について

## 現状(1): 地域別移住実績(単位:組) ※H27.12月末時点

### 移住実績(12月末)

**363組588人**

対前年同期比127%

※移住先地域不明者  
(33組52人を含む)

安芸地域

37組54人

物部川地域

21組36人

高知市地域

90組153人

嶺北地域

28組50人

仁淀川地域

36組48人

高幡地域

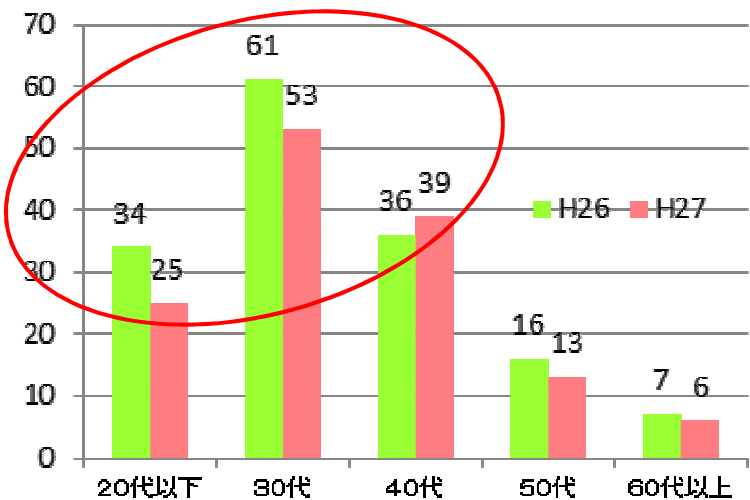
39組73人

幡多地域

79組122人

## 現状(2): 移住者の属性(県の窓口を通じた把握分「141組」の内訳) ※H27.12月末時点

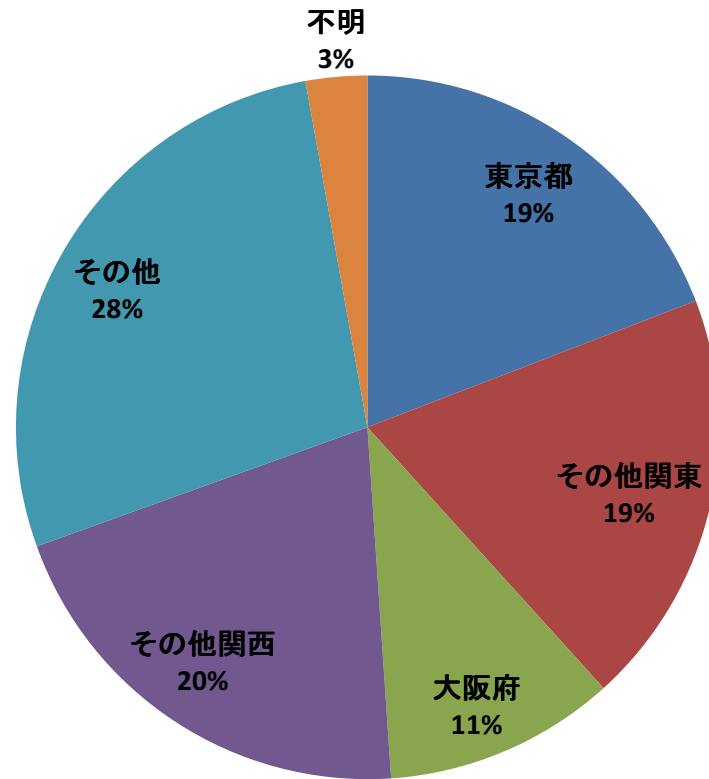
①年代(単位:組) ※不明者を除く



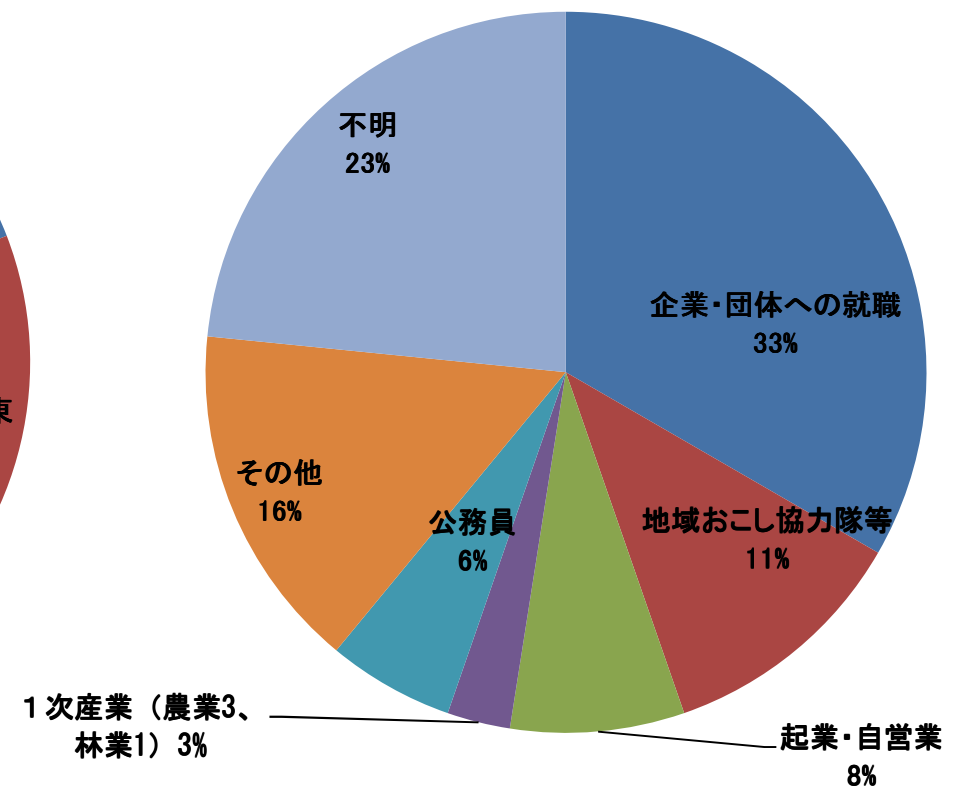
②出身(単位:%)

高知県	45(32%)
高知県以外	83(59%)
不明	13(9%)

③移住前住所地(単位:組)



④移住後の就業等の状況(単位:組)



## 現状(3): 専門相談員、地域移住サポーター配置状況 ※H27.12月末時点



専門相談員の配置 26市町村



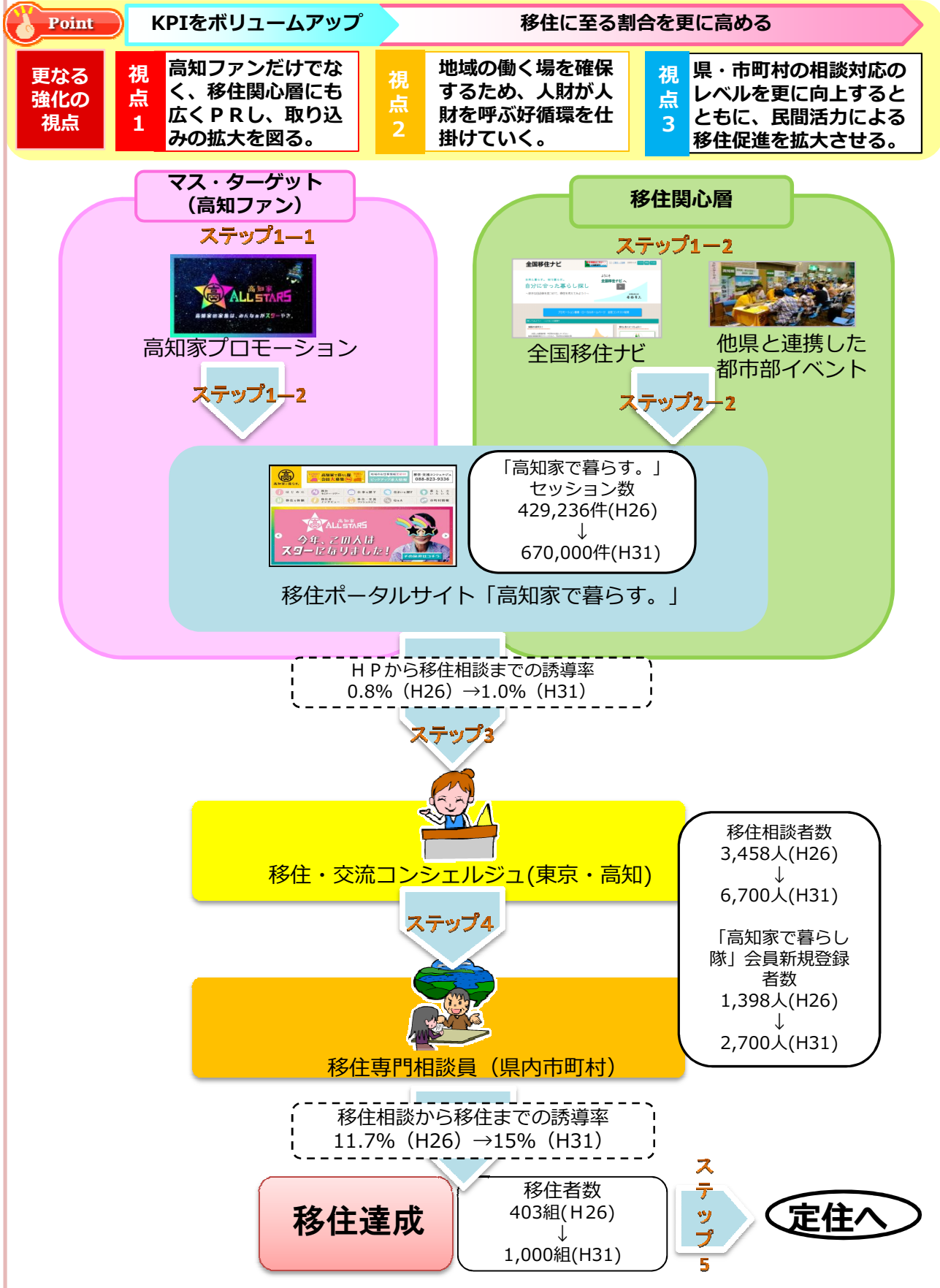
地域移住サポーターの配置 15市町村59人

# 移住促進分野の展開イメージ（案）

○分野を代表する数値目標については、暫定値です。  
○今後、関係者の皆様やフォローアップ委員会等のご意見を踏まえて、最終案をとりまとめ、3月のフォローアップ委員会で議論のうえ、正式に決定します。

分野を代表する目標 **県外からの移住者** 現状値（H26）：403組⇒4年後（H31）：1,000組

## 移住までの流れ





# 移住に繋がるプロジェクトの展開について

## 地域が求める人材ニーズ

企業系

志を持ちながら、何をするのかをまだ絞り込めていない方を対象

福祉系

一次産業系

地域系

### 「PJ」①：都市部人材と地域を繋ぐ仕掛けづくり

◆現地を見て、知ってもらうことで、志を喚起し、移住に結び付ける

NEW

#### 「遊⇒志」ツアー

高知の「遊」の要素から「志」に導くツアー  
【特徴：高知の暮らしや仕事に触れる】

NEW

セミナーからツアーまで一体的に実施

#### 「志⇒住」ツアー

高知への志移住を促すツアー  
【特徴：高知の仕事・暮らしを知る、人とつながるツアー】

#### 都市部でのセミナー

高知ファンや移住関心層の志に訴求するセミナー

志を持ち、何をするのかを一定絞り込んだ方を対象

NEW

#### 各産業分野のインターンシップ・研修

農業：こうちアグリスクール  
各地域の農業インターンシップ  
林業：林業の担い手研修  
水産：漁業の短期研修、長期研修  
福祉：福祉職場体験  
商工：県内企業のインターンシップ

#### 各産業分野のツアー

農業：産地提案型の現場を巡るツアー  
林業：林業の現場を巡るツアー

NEW

・「高知家まるごとインターンシップ」として広報  
→各分野のツアー、インターンシップ・研修情報をとりまとめて県外に発信

#### 高知暮らし体感ツアー

高知への移住を決断してもらうツアー

### 「PJ」②：都市部人材を地域に呼び込む受け皿づくり

◆新たに活躍の場を創り、高知の魅力を向上させることで、移住に結び付ける

#### 多様な仕事を生み出す (第3期産業振興計画)

- ・地域産業クラスターの形成
- ・起業支援
- ・県外企業の誘致
- ・地域AP など

NEW

高知版CCRC

#### 人材誘致を促進する取り組み

様々な求人ニーズを持つ複数の機関相互のパス回しを強化、求職コーディネーターによる情報提供、民間と連携した出向人材の確保、求人企業を招いた移住フェアの開催、都市部人材を対象にした起業支援研修の開催 など

## 都市部

潜在的な高知ファン  
潜在的な移住関心層

顕在化された高知ファン  
顕在化された移住関心層

高知への移住を真剣に  
考えている方

中核人材  
企業人材

アクティブシニア





# “意外と知らなかった!?” 数字で見る高知家の暮らし

平成28年1月  
高知県産業振興推進部移住促進課





## 数字でみる高知家の暮らし

### 女性



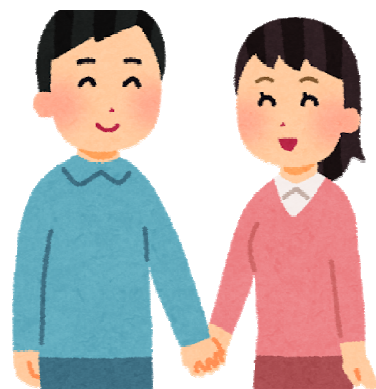
- **活躍する女性の多さは全国トップレベル**  
 \* 管理職に占める女性の割合は21.8% **全国1位!**  
 \* 起業者に占める女性の割合は18.2% **全国1位!**

### 単身世帯



- **大都市圏と比較すると自由に使える時間が多い**  
 \* 平日の自由に使える時間/日 東京都：5時間32分 高知県：6時間
- **高知は会社の規模は小さい分、1人1人の果たす役割は大きい**  
 \* 1事業所当たりの従業員数 東京都：13.8人 高知県：7.66人

### 夫婦2人世帯



- **共働きが多く、世帯収入は大阪や全国平均を上回っている**  
 \* 世帯の実収入/月 大阪市：490,339円 高知市：559,069円
- **支出が少なく、家計収入から支出を差し引いた黒字額は東京を上回っている**  
 \* 黒字額/月 東京都区部：114,173円 高知市：119,300円

### 子育て世帯



- **大都市圏と比較すると自由に使える時間が多い**  
 \* 平日の自由に使える時間/日 東京都：5時間32分 高知県：6時間
- **大都市圏と比較すると出産・子育てによる離職が少ない**  
 \* 育児をしている女性の有業率 東京都：50% 大阪府46.7% 高知県：66.7%



# 高知家の統計データ（家計編）

## ①東京・大阪・高知の1ヶ月間の家計収支（2人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均）

単位：円

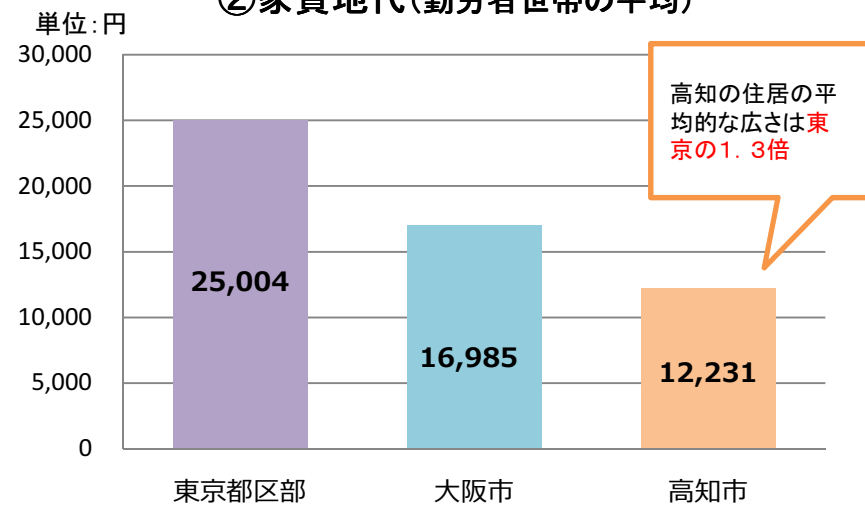
	東京都区部		大阪市		高知市		備考
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
実収入	590,686	-	490,339	-	559,069	-	世帯全員の現金収入
● うち世帯主収入	493,816	83.6%	406,310	82.9%	379,749	67.9%	
● うち配偶者収入	59,978	10.2%	50,266	10.3%	93,570	16.7%	
実支出	476,513	-	355,059	-	439,769	-	消費支出と非消費支出の合計
● 消費支出	355,665	74.6%	289,904	81.6%	335,862	76.4%	日常に必要な生活費
食料	85,096	23.9%	70,393	24.3%	69,300	20.6%	「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」部門の都道府県ランキングで高知は第1位！（「じゃらん宿泊旅行調査2015」）
住居	32,240	9.1%	20,289	7.0%	17,984	5.4%	
光熱・水道	22,364	6.3%	21,469	7.4%	22,714	6.8%	
家具・家事用品	12,532	3.5%	8,198	2.8%	9,575	2.9%	
被服及び履物	18,888	5.3%	13,456	4.6%	12,033	3.6%	
保健医療	13,803	3.9%	9,805	3.4%	9,992	3.0%	
交通・通信	45,919	12.9%	42,207	14.6%	54,891	16.3%	
教育	22,037	6.2%	23,949	8.3%	16,840	5.0%	
教養娯楽	42,030	11.8%	26,480	9.1%	32,369	9.6%	
その他の消費支出	60,756	17.1%	53,657	18.5%	90,163	26.8%	
● 非消費支出	120,849	25.4%	65,155	18.4%	103,908	23.6%	税金、社会保険料
可処分所得	469,837	-	425,183	-	455,162	-	手取り収入（実収入－非消費支出）
黒字額	114,173	-	135,279	-	119,300	-	実収入－実支出

高知は配偶者の有業率が高い（共働きで世帯を支える傾向が強い）  
 東京：39.3%  
 大阪：40.1%  
 高知：50.1%

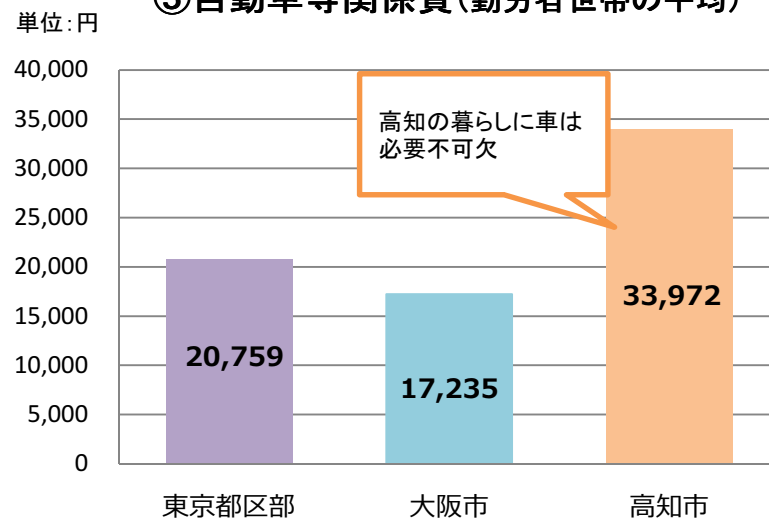
「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」部門の都道府県ランキングで高知は第1位！（「じゃらん宿泊旅行調査2015」）

仕送りは多い  
 東京：3,244円  
 大阪：4,416円  
 高知：19,581円

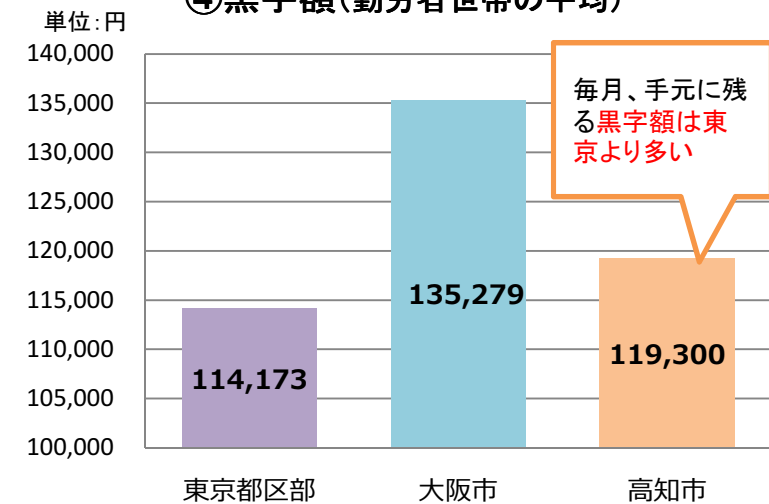
### ②家賃地代（勤労者世帯の平均）



### ③自動車等関係費（勤労者世帯の平均）



### ④黒字額（勤労者世帯の平均）



【参考】民営借家に入居している勤労者世帯の家賃地代  
 関東：73,797円 近畿：65,542円 四国：52,115円

出典：総務省統計局「家計調査年報（家計収支編）平成26年（2014年）」

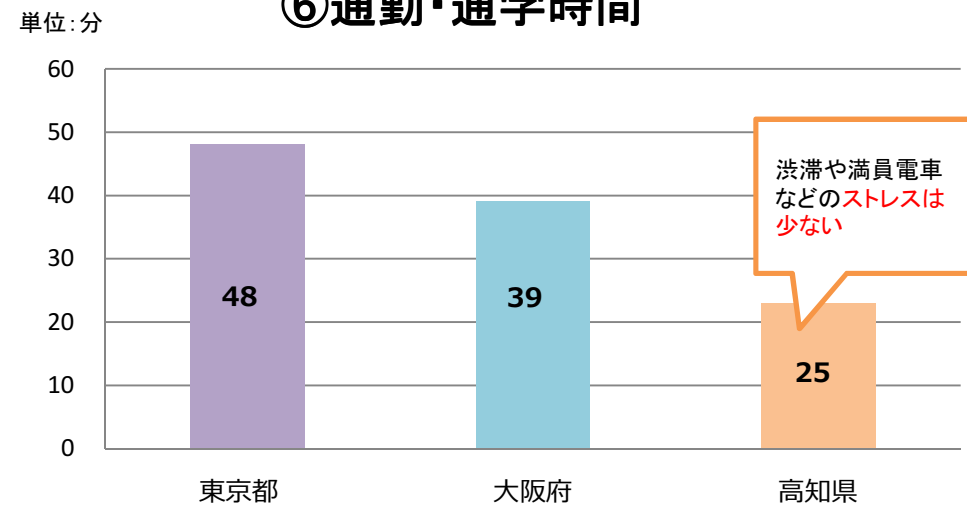


# 高知家の統計データ（生活編）

## ⑤ 平日の生活時間／日

	東京都	大阪府	高知県	備考
1次活動時間	10時間27分	10時間24分	<b>10時間53分</b>	睡眠、食事など
2次活動時間	<b>8時間1分</b>	7時間40分	7時間7分	仕事・通勤、家事など
3次活動時間	5時間32分	5時間56分	<b>6時間</b>	自由に使える時間

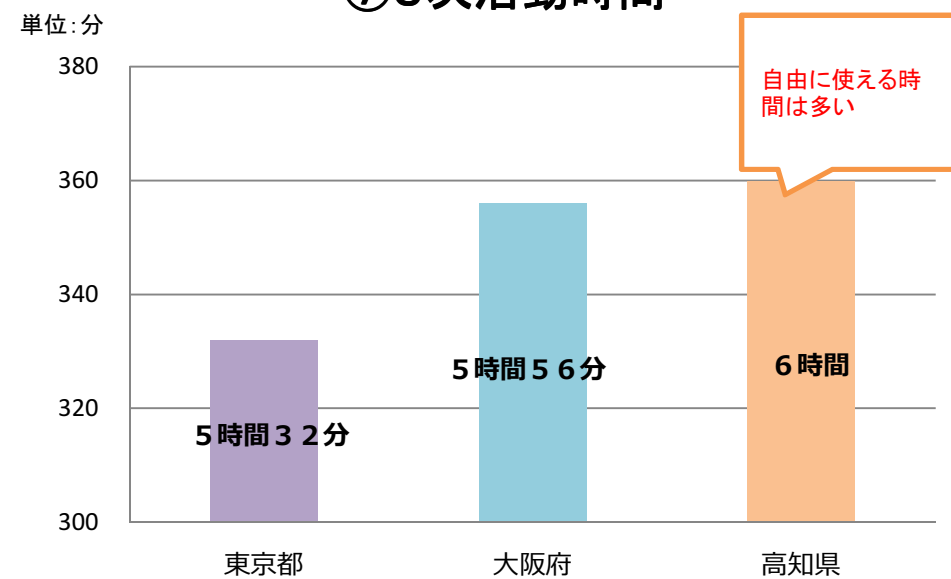
## ⑥ 通勤・通学時間



通勤・通学時間／都道府県ランキング(時間の少ない順)

順位	都道府県名	時間
1位	宮崎県	24分
2位	<b>高知県</b>	<b>25分</b>
2位	鳥取県	25分
2位	愛媛県	25分
2位	大分県	25分
6位	青森県	26分
7位	島根県	26分
8位	岩手県	27分
9位	秋田県	27分
10位	熊本県	27分
	全国平均	38分

## ⑦ 3次活動時間



3次活動時間(自由時間)／都道府県ランキング(時間の多い順)

順位	都道府県名	時間
1位	北海道	6時間18分
2位	大分県	6時間9分
3位	愛媛県	6時間6分
4位	青森県	6時間2分
5位	三重県	6時間1分
5位	長崎県	6時間1分
7位	<b>高知県</b>	<b>6時間</b>
7位	兵庫県	6時間
9位	福岡県	5時間58分
10位	和歌山県	5時間57分
	全国平均	5時間48分

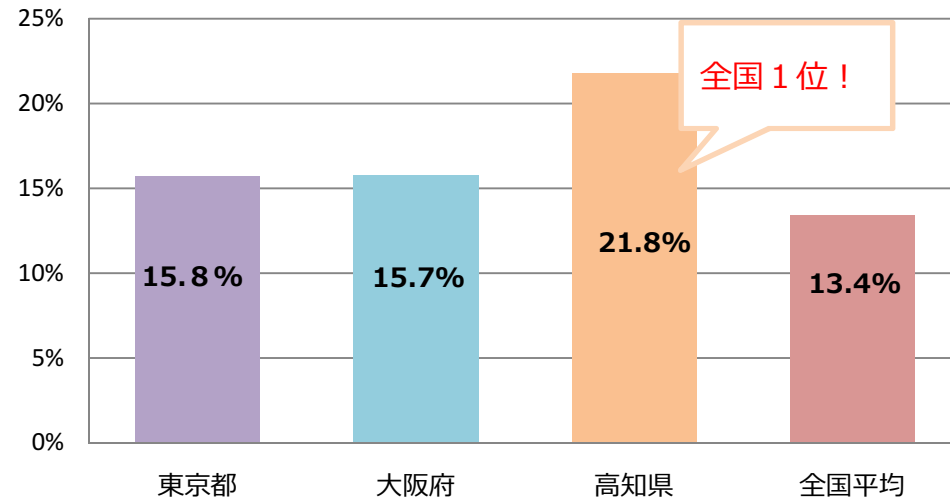
出典：総務省統計局「平成23年社会生活基本調査」(総平均時間)



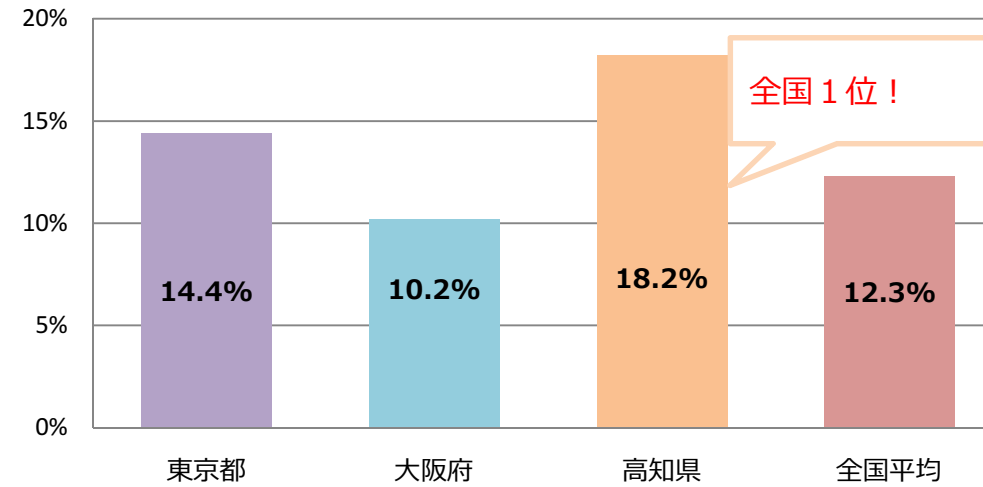


# 高知家の統計データ（仕事編）

### ⑧ 管理的職業従事者に占める女性の割合

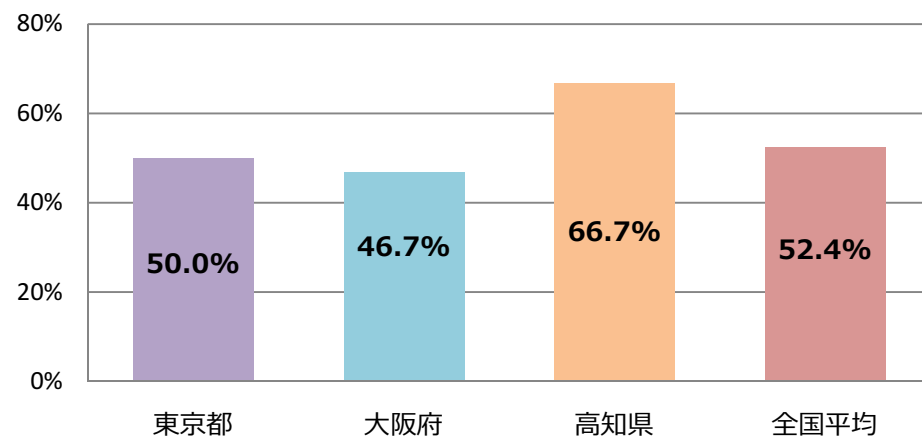


### ⑨ 都道府県別起業者に占める女性の割合

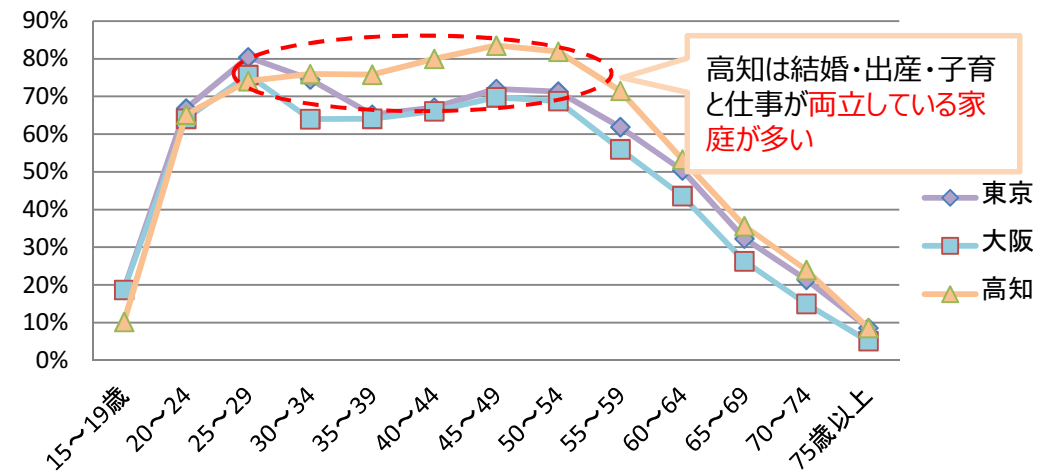


### ⑩ 育児をしている女性(22~44歳)の有業率

※小学校入学前の幼児を対象とした育児

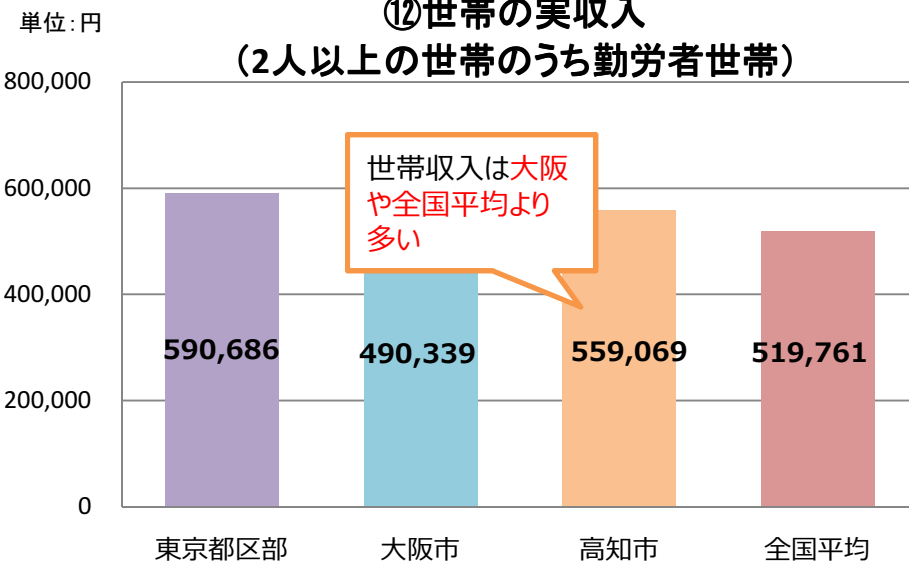


### ⑪ 都道府県別女性の年齢階級別有業率



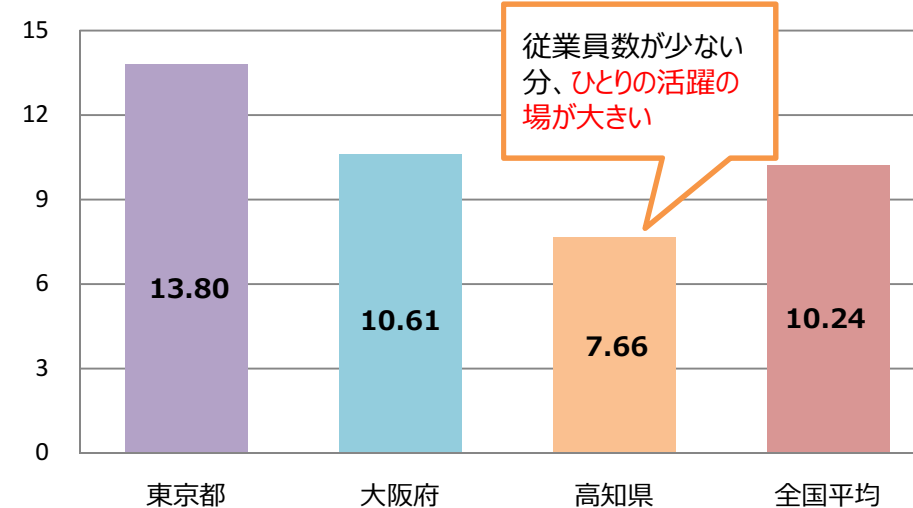
出典：総務省統計局「平成24年度就業構造基本調査」

### ⑫ 世帯の実収入 (2人以上の世帯のうち勤労者世帯)



出典：総務省統計局「家計調査年報(家計収支編)平成26年(2014年)」

### ⑬ 民営事業所従業員者数(1事業所当たり)



出典：総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査結果」